

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6 月 10 日

新潟市長様

提出者

住所 新潟県新潟市中央区弁天橋通3丁目1-15

氏名 住友林業株式会社 住宅事業本部
新潟支店 支店長 菅野 敏彦
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 025-257-8770

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

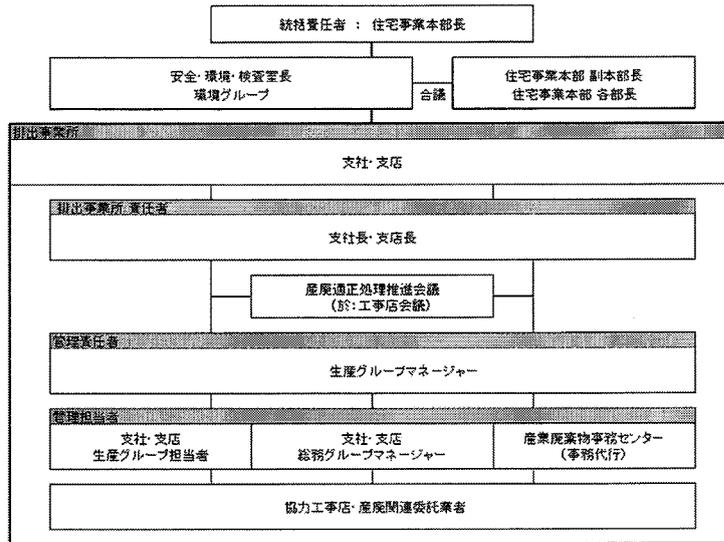
事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 新潟支店
事業場の所在地	新潟県新潟市中央区弁天橋通3丁目1番15号
計画期間	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 (総合工事業)
②事業の規模	売上高 (連結) 1,733,169百万円(2023/12期)
③従業員数	住友林業㈱ 5,840名(2024/4) (新潟支店 49名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none">■廃プラスチック類→再生処理業者へ委託・・・原料として再資源化■紙くず→再生処理業者へ委託・・・紙の原料として再資源化■木くず→再生処理業者へ委託・・・チップにして原料として再資源化■繊維くず(天然繊維くず)→再生処理業者へ委託・・・原料として再資源化■金属くず→再生処理業者へ委託・・・原料として再資源化■ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず<ul style="list-style-type: none">→再生処理業者へ委託・・・再生骨材として再資源化→一部処理業者へ委託■がれき類(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じた不要物)<ul style="list-style-type: none">→再生処理業者へ委託・・・再生砕石として再資源化■コンクリート破片→再生処理業者へ委託・・・再生砕石として再資源化■建設混合廃棄物→現場で可能な限り分別し、分別し切れなかったものを混合廃棄物として処理業者へ委託<ul style="list-style-type: none">→処理業者でも選別をかけて可能な限り再生できるものに分ける。→処理業者でも選別をかけて分けられなかったものには、最終処分場にて埋立処分となる■石綿含有産業廃棄物→処理業者へ委託・・・最終処分場にて埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状		【前年度 (5 年度) 実績】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	
排出量	98.96 t	119.07 t	300.17 t	2.03 t	55.72 t	332.31 t	1.10 t	555.26 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
排出量	57.06 t	9.30 t							
(これまでに実施した取組)									
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築現場での、分別を徹底して実施。 ■ 中間処理業者へ中間処理後の再資源化先への委託の徹底指導。 									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	がれき類	コンクリート破片	
排出量	89.06 t	107.16 t	270.15 t	1.83 t	50.15 t	299.08 t	0.99 t	499.73 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
排出量	51.35 t	8.37 t							
(今後実施する予定の計画)									
<ul style="list-style-type: none"> ■ 建築現場への適正発注を実現する事で、産廃物の量を削減する。 ■ 手戻りが起こらないように事前打合せをしっかりと行なう。 ■ メーカーでの引き上げ可能品の回収を確実にする。また使用できる資材の在庫管理をおこなうことで無駄な排出を抑制する。 									

産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃プラスチック、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、コンクリート破片 建築現場での徹底分別。
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続して分別の徹底を図る。 再資源化率100%を達成できるように、特に、ガラス・陶磁器くずの再資源化の推進を図る。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状		【前年度（5年度）実績】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	カブネ陶磁器コンクリくず	がれき類	コンクリート破片	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	カブネ陶磁器コンクリくず	がれき類	コンクリート破片	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状		【前年度（5年度）実績】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	カブネ陶磁器コンクリくず	がれき類	コンクリート破片	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
② 計画		【目標】							
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	カブネ陶磁器コンクリくず	がれき類	コンクリート破片	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器コンクリートくず	がれき類	コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
特に実施していない。									
② 計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器コンクリートくず	がれき類	コンクリート破片
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.00 t	0.00 t							
(今後実施する予定の計画)									
実施予定なし。									

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（5年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス陶磁器コンクリートくず	がれき類	コンクリート破片
全処理委託量	98.96 t	119.07 t	300.17 t	2.03 t	55.72 t	332.31 t	1.10 t	555.26 t	
優良認定処理業者への処理委託量	98.96 t	119.07 t	300.17 t	2.03 t	55.72 t	214.94 t	1.10 t	11.52 t	
再生利用業者への処理委託量	98.96 t	119.07 t	300.17 t	2.03 t	55.72 t	332.31 t	1.10 t	555.26 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	
産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物							
全処理委託量	57.06 t	9.30 t							
優良認定処理業者への処理委託量	57.06 t	9.30 t							
再生利用業者への処理委託量	57.06 t	0.00 t							
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t							
(これまでに実施した取組)									
委託先処理業者の年1回の現地踏査の実施。中間処理後の産廃物の流れを再資源化優先に決定する。									

① 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	カブネ両磁器コンクリくず	がれき類	コンクリート破片
	全処理委託量	89.06 t	107.16 t	270.15 t	1.83 t	50.15 t	299.08 t	0.99 t	499.73 t
	優良認定処理業者への処理委託量	89.06 t	107.16 t	270.15 t	1.83 t	50.15 t	198.05 t	0.99 t	11.52 t
	再生利用業者への処理委託量	89.06 t	107.16 t	270.15 t	1.83 t	50.15 t	299.08 t	0.99 t	499.73 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	建設混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物						
	全処理委託量	51.35 t	8.37 t						
	優良認定処理業者への処理委託量	51.35 t	8.37 t						
	再生利用業者への処理委託量	51.35 t	0.00 t						
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t						
(今後実施する予定の取組)									
再資源化100%を目指し、委託先処理業者への指導強化を図る。 年1回の定期的な現地踏査は、継続して実施する。									
※事務処理欄									

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部新潟支店 支店長 菅野 敬彦	提出者の住所	新潟県新潟市中央区弁天橋通3丁目1-15
事業場の名称	住友林業株式会社 住宅事業本部 新潟支店	事業場の所在地	新潟県新潟市中央区弁天橋通3丁目1番15号
内容年度	平成 6 年度		

(単位:トン)

廃棄物の種類	現状 / 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
廃プラスチック類	現状	98.96	0.00	0.00	0.00	0.00	98.96	98.96	98.96	0.00	0.00
	計画	89.06	0.00	0.00	0.00	0.00	89.06	89.06	89.06	0.00	0.00
紙くず	現状	119.07	0.00	0.00	0.00	0.00	119.07	119.07	119.07	0.00	0.00
	計画	107.16	0.00	0.00	0.00	0.00	107.16	107.16	107.16	0.00	0.00
木くず	現状	300.17	0.00	0.00	0.00	0.00	300.17	300.17	300.17	0.00	0.00
	計画	270.15	0.00	0.00	0.00	0.00	270.15	270.15	270.15	0.00	0.00
繊維くず	現状	2.03	0.00	0.00	0.00	0.00	2.03	2.03	2.03	0.00	0.00
	計画	1.83	0.00	0.00	0.00	0.00	1.83	1.83	1.83	0.00	0.00
金属くず	現状	55.72	0.00	0.00	0.00	0.00	55.72	55.72	55.72	0.00	0.00
	計画	50.15	0.00	0.00	0.00	0.00	50.15	50.15	50.15	0.00	0.00
ガラス陶磁器コンクリくず	現状	332.31	0.00	0.00	0.00	0.00	332.31	214.94	332.31	0.00	0.00
	計画	299.08	0.00	0.00	0.00	0.00	299.08	198.05	299.08	0.00	0.00
がれき類	現状	1.10	0.00	0.00	0.00	0.00	1.10	1.10	1.10	0.00	0.00
	計画	0.99	0.00	0.00	0.00	0.00	0.99	0.99	0.99	0.00	0.00
コンクリート破片	現状	555.26	0.00	0.00	0.00	0.00	555.26	11.52	555.26	0.00	0.00
	計画	499.73	0.00	0.00	0.00	0.00	499.73	11.52	499.73	0.00	0.00
建設混合 廃棄物	現状	57.06	0.00	0.00	0.00	0.00	57.06	57.06	57.06	0.00	0.00
	計画	51.35	0.00	0.00	0.00	0.00	51.35	51.35	51.35	0.00	0.00
石綿含有 産業廃棄物	現状	9.30	0.00	0.00	0.00	0.00	9.30	9.30	0.00	0.00	0.00
	計画	8.37	0.00	0.00	0.00	0.00	8.37	8.37	0.00	0.00	0.00
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
	現状										
	計画										
合計	現状	1,530.98					1,530.98	869.87	1,521.68		
	計画	1,377.88					1,377.88	788.63	1,369.50		